

AIST 研究成果の創出と社会実装で社会課題解決と産業競争力強化に挑む、日本最大級の研究機関。産業競争力強化法に基づき、国研としては唯一、所有する施設や設備を研究開発だけでなくビジネス創出にも活用可能。

G-QuAT 2023年7月に産総研に設立された研究センター。「ビジネス開発」と「グローバル」をテーマに、量子技術の産業化を国内外の企業や研究機関と連携し、支援。国内外の企業やスタートアップから多くの期待が寄せられている。

G-QuATにおける 量子ビジネスエコシステム戦略

1 グローバル戦略

日本の強みを生かしたグローバルステイクホルダーとの連携（Win-Win関係の形成）

3 産業創出支援戦略

量子古典計算環境、次世代機開発の支援プラットフォーム

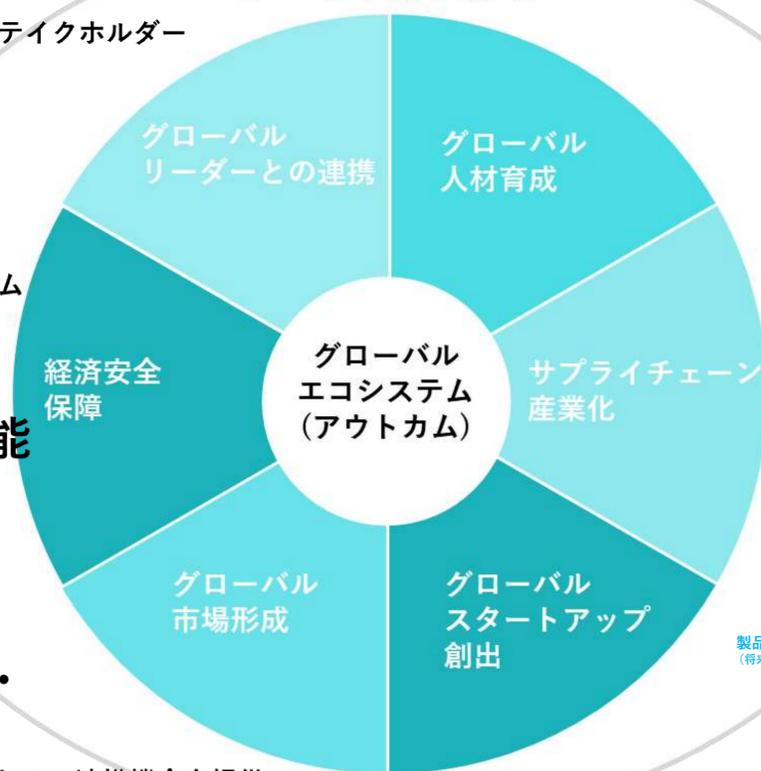
5 インテリジェンス機能

政府・産業動向、技術情報、知財や投資状況などの情報収集・分析

7 インキュベーション・コラボレーション

多様なプレイヤーの集積と結節点として、連携機会を提供

6つの 出口戦略

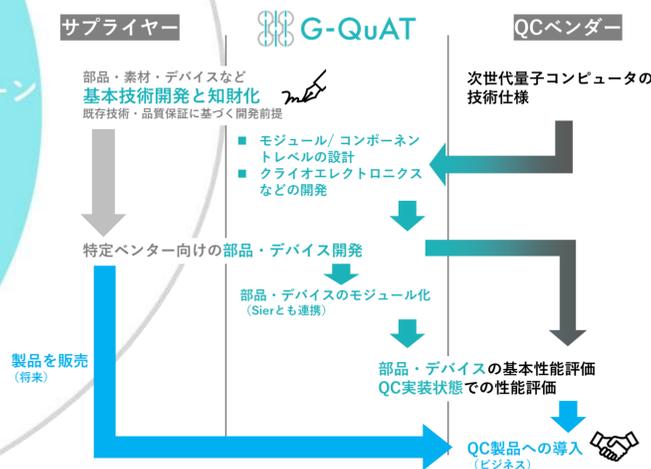


2 政府戦略との連動

政府戦略・制作の実行ツールとしての役割
「量子技術の産業化に関するグローバルな開発拠点。量子・AIハイブリッドの実利用計算環境を整備し、ユースケース創出、部品・材料・デバイス・集積回路の開発・評価・試作を支援する環境・サービスを提供」（量子未来産業創出戦略より抜粋）

4 サプライヤー支援

次世代機向け部品・装置等のサプライヤー支援フレームの構築



6 知財・標準化戦略

ISO/IEC JTC-3で中心的な役割と周辺技術の標準化・知財確保

8 競争環境の整備

設備・場所・投資機会のビジネス基盤をユーザとベンダーに提供し、市場競争を誘発

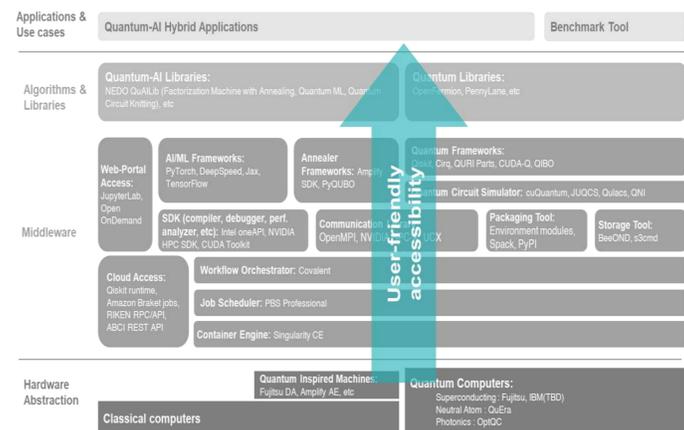
2025年春 G-QuAT本部棟建設、実験棟増設、量子コンピュータ棟改築



G-QuATの プラットフォーム

1 量子・AI計算基盤、ユースケース開発 量子コンピュータの運用と改良

- ABCI-Q (NVIDIA H100 x 2020基搭載)
- 中性原子量子コンピュータ (QuEra)
- 超伝導量子コンピュータ (富士通)、他



2 評価テストベッド、部素材評価サービス システムレベル評価と装置化支援

- 中規模・大規模希釈冷凍機
- 数100~1,000量子ビット制御装置
- レーザなど光学系装置、他



3 デバイス製造技術、製造サービス 設計機能の強化と性能保証

- 2024年10月より、国内および海外のユーザーにファウンドリサービスを提供開始

